

特 別 展

いな さく
稲 作 と 生 活 展

会 期 昭 和 5 2 年 1 1 月 3 日

~ 5 3 年 1 月 3 1 日

水 田 耕 作

稲作のための水田耕作は、日本において各地域の自然条件等による多少の差異^{さい}

はありますが、次の五段階が基本的な耕作過程です。

1. 種^ま播き
2. 苗の育成（苗代仕事）
3. 田植え
4. 稲の育成（中耕 除草 鳥獣虫害の除去）
5. 収 穫

稲 作 ぎ 儀 れい 礼

さくがら
稲の作柄の良否は農民の生命さえも左右するものでした。そのため農民は稲作
いのち
の一年間を祈るような気持ちですごします。耕作の各段階において行なわれてい
る数多くの儀礼は、自然を相手として生きている人々の切実な気持ちを表わして
います。

1. よしゆく
予祝 お田打祭、小正月行事
2. はしゆ
播種 みなくち
水口祭
3. 田植 (大田植)、サナブリ
4. 推移 虫送り、雨乞い、風まつり
5. 収穫 刈上げ祭、扱上げ祭

稲 作 の 歴 史

稲の原産地はインドあたりと推定されており、日本には中国大陸を経て伝えられたと考えられます。弥生時代の出土物の中には、炭化した^{もみ}粳や粳こんの着いた土器等が発見されていることから、日本における稲作の起源はほぼこの時代であったとされています。

静岡県には登呂遺蹟があり、ここから稲作の起源に関連する数多くの資料が出土しています。

稲はその栽培の始源以来、日本における基本的作物としての地位を今日まで持ち続けてきました。江戸時代には農法、農具等の改良が進められ、更に近代に至っては化学肥料の使用によって、稲作は驚くべき進歩をとげました。

米の収穫量は今日でも私たちの暮らしに大きな影響を与えます。私たちの祖先が主食である米の増産を願って努力してきた稲作の歴史をふり返ってみたいと思います。

米 と 食 生 活

米は日本人の食生活に大きな影響を与えています。主食として毎日炊いて食べるごはん、正月や節句に作る餅、盆や月見の時の団子等米の調理方法も多様ですが、日常生活から晴の日の生活まで米の登場しない日はありません。しかし米が国民すべての常食となったのはそう古い時代のことではありません。昔は米の多くが貢租の対象として取り上げられ、庶民は晴の日に神に奉った神饌としての米を祭の後に神から頂いて食べる程度でした。米の調理方法にむして強飯にする方法があり、現在でも祝い事などの時におこわなどを作りますが、これは炊飯法より古い調理法であったようです。米の過剰生産食生活の変化等により、米の価値も昔とは異ってきた現代ですが、日本人にとって米が主食であることは今後も変わらないでしょう。

展 示 資 料 目 録

資 料 名	点数	提 供 者	
ま ん の う 鍬	1	三島市一丁田	小野喜佐雄氏
鍬	1	三島市梅名	吉田 信氏
盛うないまんのう	1	〃	〃
平 お こ し	1	〃	〃
お	1	〃	〃
和 梨	1		長泉町公民館
ぶ ら お	1	北海道富良野市	藤田松五郎氏
か ら す き	1		郷 土 館
ほうりまんが(二人用)	1	三島市松本	加藤 功氏
ほうりまんが(一人用)	1		萩原 昇氏
ま ん が	1	三島市御門	吉田 邦夫氏
八 反 ま ん が	1		郷 土 館
代 な ら し	1	三島市梅名	吉田 信氏
代 な ら し	1		郷 土 館
大 足	1		沼津歴史民俗資料陳列館
大 足	1		〃
な ん ば	1		〃
な ん ば	1		〃
み の(しゅろ製)	1	三島市三好町	渡辺 英一氏
と ん ぼ 笠	1	三島市御園	中村 敏行氏
み の	1	富士宮市淀師	萩 精吾氏
と ん ぼ 笠	1		松本甚之助氏
せ ご ざ	1		郷 土 館
ざ る	1	三島市御園	小林 徳男氏
種 漬 袋	1		静岡市登呂博物館

種 扱 俵	3	三島市梅名	吉田 信氏
苗かご(てんびん棒)	1	清水町上徳倉	岡崎 繁氏
か つ ぎ 俵	1	三島市大場中島	長谷川喜十氏
苗かご(てんびん棒)	1	三島市梅名	吉田 信氏
縄張棒と田植綱	1	〃	〃
縄 張 棒	1	三島市南田町	宮本源次郎氏
ず い 虫 取 り	1	韭山町四日町	川口 哲夫氏
が ん づ め	1		静岡市登呂博物館
田 の 草 取 り	1	三島市梅名	吉田 信氏
田 こ ろ が し	1	三島市松本	加藤 功氏
た こ あ し	1	北海道富良野市	藤田松五郎氏
か ま	3	三島市小山	小出 正吾氏
のこぎりがま	1	〃	〃
のこぎりがま	3	三島市梅名	吉田 信氏
こ き ば し	1	三島市玉沢	松本 新平氏
こ き ば し	2	富士宮市小泉	石川 静隆氏
く る り	1	三島市北沢	小池 保男氏
く る り	1		郷 土 館
千 歯	1	裾野市千福	秋山 倉吉氏
千 歯	1	〃	〃
足踏み脱穀機	1	函南町柏谷	米山 祐和氏
み	1		郷 土 館
み	1	三島市梅名	吉田 信氏
く ま で	1	三島市松本	加藤 功氏
と う し	1	三島市小山	小出 正吾氏
と う し	1	三島市中	荒木 幸雄氏
麦 う ち	1		萩原 昇氏
か ら う す	1	富士宮市小泉	石川 静隆氏

扇 風 機	1		郷 土 館
唐 箕	1		栗原 耕一氏
千 石 と う し	1		静岡市登呂博物館
も も お け	1	三島市新谷	川口 保作氏
一 斗 ま す	1	〃	〃
と ぼ う	1	三島市松本	加藤 功氏
わ ら た た き	1	三島市徳倉	遠藤 さと氏
〃	1		郷 土 館
俵 編 機	1	三島市中	山梨 源一氏
さ ん だ わ ら	2		郷 土 館
麦 打 台	1	函南町畑毛	加藤 武氏
米 入 れ 袋	1		高梨 つる氏
米 び つ	1		辻 政一郎氏
一 升 ま す	1	三島市一番町	緒明 太郎氏
五 合 ま す	1	三島市南田町	遠藤 春雄氏
一 合 ま す	1	〃	〃
石 う す	1		郷 土 館
木 ば ち	1	三島市松本	三田 かね氏
せ い ろ う	1	三島市小山	小出 正吾氏
飯 び つ	1	三島市本町	中野 順氏
平 わ ん	1	三島市大社町	大村 庄三氏
湯のみ茶わん	1	三島市川原ヶ谷	栗原 勝男氏
箱 ぜ ん	1	〃	〃
〃	1	三島市大宮町	植松 孝安氏
か ま	1	三島市一番町	木村喜一郎氏
茶 だ る	1		郷 土 館
穫り入れの図屏風	6 1 曲 又	三島市富田町	吉田 実氏
こ し き	1		沼津歴史民俗資料陳列館

靱痕のついた弥生式土器	1		沼津歴史民俗資料陳列館
〃 (土器片)	1		〃
こしき	1		郷土館
石包丁	1	富士宮市淀師	荻精吾氏
弥生式土器 (青木出土)	1		郷土館
〃 (長伏出土)	1		〃
稲の写真	8		国立遺伝学研究所
登呂遺跡写真	5		静岡市登呂博物館
稲作写真	6		たはらかさね耕作絵巻より